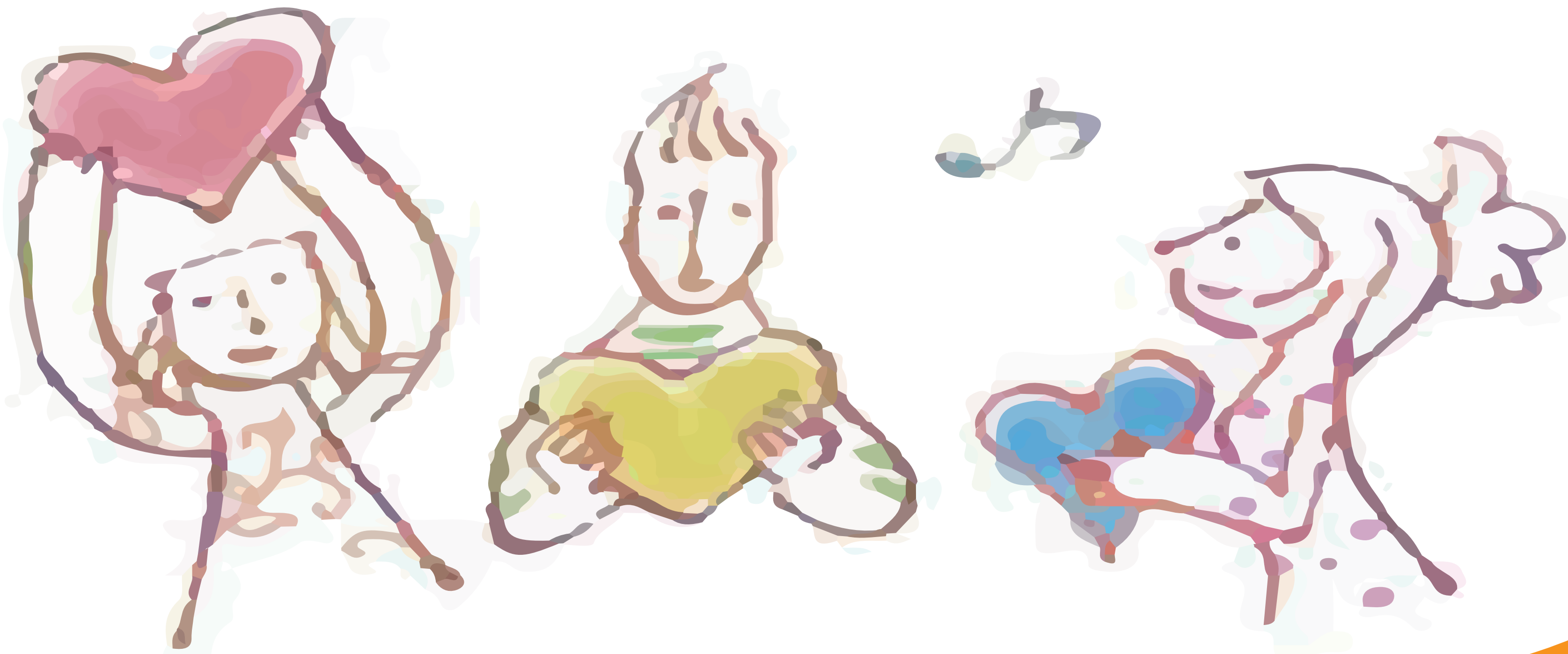


みんなちがって、 みんないい

これまでの人生を振り返ってみてください。
一度や二度は胸にグサリと傷つくことを
言われた経験がありませんか。
逆に自分は意識していなくても、
相手を差別していることがあるかもしれません。
差別をなくすための近道は、一人ひとりの違いを認め合うこと。
だれもが差別の当事者になるという認識を持ち、
人権を尊重していくことで平等な世界はつくられます。



～人権問題はあなたの心の問題です～

人権は、だれもが生まれながらに持っている人が人らしく生きていくための権利です。そしてそれは、だれからも侵されることのない基本的な権利であり、日本の憲法でも保障されています。

しかし、私たちの周りには、まだまだ差別がとりまいています。同和問題をはじめ、助成、子ども、高齢者、障害者など様々な人権の問題を解決するために、まずは他人事ではなく自分自身の事として向き合しましょう。一人ひとりが心の奥に潜む差別意識と向き合い、人権意識を育てていくことが大切です。

人権の尊重とは？

お互いが平等で対等な立場に立って
お互いの権利を認め合うこと